

(様式 1-3)

東松島市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	124	事業名	公立学校施設整備費国庫負担事業 (鳴瀬桜華小学校校舎等整備事業(用地造成))	事業番号	◆A-1-4-1
交付団体	東松島市		事業実施主体 (直接/間接)	東松島市(直接)	
総交付対象事業費	69,927 (千円) 55,038 (千円)-		全体事業費	201,747 (千円) 186,857 (千円)-	

事業概要

東日本大震災の津波により全壊となった浜市小学校（現在は小野小学校と統合し鳴瀬桜華小学校）の災害復旧のため移設新築を行うにあたり、用地造成を行うもの。

当該小学校については、平成 24 年 6 月に指定した災害危険区域内にあり、災害危険区域の指定について、特に学校に関する制限はないものの、住民の意向や法の趣旨を考慮し現地復旧は適さないものと判断し、隣接地区の小野小学校と統合再編を図り移転新築するもの。

事業実施学校名：鳴瀬桜華小学校（被災校：浜市小学校・小野小学校統合校）

計画規模(校舎面積 A=4,905 m<sup>2</sup>、屋内運動場面積 A=1,254 m<sup>2</sup>、校地面積 A=16,022 m<sup>2</sup>)

なお、本事業は学校建設に係る用地造成事業です。

□造成計画事業面積按分 < 変更前 >

	全体事業	災害復旧	復興交付金	市単独
面積	33,526.98 m <sup>2</sup>	27,427.80 m <sup>2</sup>	6,060 m <sup>2</sup>	39.18 m <sup>2</sup>
割合	100%	81.81%	18.07%	0.12%
造成工事費(円)	997,920,000	816,379,828	180,373,991	1,166,181
工事監理費(円)	35,873,000	29,347,035	6,484,043	41,922
事業費計(円)	1,033,793,000	845,726,863	186,858,034	1,208,103

□造成事業面積按分 < 変更後 >

	全体事業	災害復旧	災害復旧加算	復興交付金	市単独
面積	31,286.00 m <sup>2</sup>	9,923.00 m <sup>2</sup>	4,387.00 m <sup>2</sup>	6,060.00 m <sup>2</sup>	10,916.00 m <sup>2</sup>
割合	100%	31.72%	14.02%	19.37%	34.89%
造成工事費(円)	1,009,412,400	320,155,956	141,542,294	195,520,014	352,194,137
工事監理費(円)	32,158,080	10,199,598	4,509,285	6,228,919	11,220,277
事業費計(円)	1,041,570,480	330,355,554	146,051,579	201,748,933	363,414,414

□計画年度別事業費（復興交付金申請予定）

(単位：円)

	月数	造成工事費	工事監理費	計	改め	備考
平成 29 年度	4	32,795,271	1,178,917	33,974,188	33,974,000	申請済
平成 30 年度	12	98,385,813	3,536,751	101,922,564	101,922,000	申請済
令和元年度	6	49,192,907	1,768,375	50,961,282	50,961,000	申請済
第 25 回申請		15,146,023	▲255,124	14,890,899	14,890,000	
合計	22	195,520,013	6,228,919	201,748,932	201,747,000	

【第 25 回申請額】 14,890 千円

造成事業（変更後） 201,748,933 円 - 造成計画事業（変更前） 186,858,034 円  
= 14,890,899 円 ≠ 14,890,000 円

東松島市復興まちづくり計画（記載箇所 P. 24～P25）

第 2 章 分野別取組み 2 支えあって安心して暮らせるまちづくり

(2) 安心して心豊かに暮らせる生活環境の向上 ②教育環境の充実と文化の継承

実施事業:学校関係施設災害復旧事業

（事業間流用による経費の変更）（平成 29 年 5 月 10 日）

造成工事費として、◆A-4-1-1 埋蔵文化財収蔵施設整備事業より 1,427 千円（国費：H23 補正（繰越）1,142 千円）、◆A-1-2-1 学校就学環境整備事業（野蒜・宮戸統合小学校実施設計事業（造成））より 875 千円（国費：H25 当初 700 千円）、◆A-1-2-2 公立学校施設整備費国庫負担事業（野蒜・宮戸統合小学校校舎等整備事業（用地取得））より 9,688 千円（国費：H25 当初（繰越）7,750 千円）、◆A-1-3-2 公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬未来中学校校舎等整備事業（用地取得））より 50 千円（国費：H25 当初（繰越）40 千円）、◆A-1-3-3 公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬未来中学校校舎等整備事業（用地造成））より 21,934 千円（国費：H25 当初（繰越）17,547 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 0 千円（国費：0 千円）から 33,974 千円（国費：27,179 千円）に増額。

（事業間流用による経費の変更）（平成 30 年 1 月 17 日 第 20 回申請により流用）

造成工事費として、◆A-1-3-2 公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬未来中学校校舎等整備事業（用地取得））より 45 千円（国費：H25 当初（繰越）36 千円）、◆A-1-3-3 公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬未来中学校校舎等整備事業（用地造成））より 59,223 千円（国費：H25 当初（繰越）47,378 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 76,628 千円（国費：61,302 千円）から 135,896 千円（国費：108,716 千円）に増額。

（事業間流用による経費の変更）（平成 31 年 1 月 11 日 第 23 回申請により流用）

造成工事費として、A-1-3 公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬未来中学校校舎等整備事業）より 31,428 千円（国費：H26 当初（繰越）25,142 千円）、A-2-1 学校施設環境改善事業（鳴瀬未来中学校武道館整備事業）より 6,492 千円（国費：H26 当初（繰越）5,193 千円）、◆A-1-3-2 公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬未来中学校校舎等整備事業（用地取得））より 362 千円（国費：H25 当初（繰越）289 千円）、A-2-2 学校施設環境改善事業（鳴瀬未来中学校ネットワーク基盤整備事業）より 297 千円（国費：H25 当初（繰越）237 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 148,280 千円（国費：118,623 千円）から 186,857 千円（国費：149,484 千円）に増額。

（事業間流用による経費の変更）（令和元年 10 月 7 日 第 25 回申請により流用）

造成工事費として、◆A-4-1-1 埋蔵文化財収蔵施設整備事業より 1 千円（国費：H23 補正（繰越）1 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 186,857 千円（国費：149,484 千円）から 186,858 千円（国費：149,485 千円）に増額。

#### 当面の事業概要

平成 27 年度	校舎移転適地調査（効果促進事業★D-23-2-67）
平成 28 年度	基本構想・基本計画策定（効果促進事業★D-23-2-11）
平成 29-30 年度	基本・実施設計（A-1-4・A-1-5）
平成 29-31 年度	用地造成工事（第 18・20・23 回申請）
平成 31 年 1 月	災害査定
令和 1-2 年度	建設工事（A-1-4・A-1-5）
令和 3 年 1 月	供用開始

#### 東日本大震災の被害との関係

旧浜市小学校は、2.8mの津波により校舎 1 階の天井まで浸水し壊滅的な被害を受け全壊、そのほか体育館、プール、付属建物も同じく全壊しました。隣接区域の旧小野小学校の校舎間借りを経て、平成 25 年 4 月に同校と統合し、鳴瀬桜華小学校となっています。

関連する災害復旧事業の概要
---------------

平成 23 年度発生公立学校施設災害復旧事業 浜市小学校災害復旧工事

東日本大震災により被災した校舎及び屋内運動場等の移転新築を災害復旧事業で行なう予定であり、今後、災害査定を受け事業を実施します。なお、災害復旧方法については、文部科学省と協議を行い平成 24 年 3 月 13 日付けで「公立学校施設災害復旧費負担法第 5 条に規定する原形に復旧することが著しく不相当である場合と判断される」の回答を受けています。

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
----------	--

事業番号	A-1-4
事業名	公立学校施設整備費国庫負担事業（鳴瀬桜華小学校校舎等整備事業）
交付団体	東松島市

基幹事業との関連性
-----------

上記関連基幹事業と一体で本事業を実施するもの。

(様式 1 - 3)

東松島市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	126	事業名	奥松島船舶離発着施設整備事業	事業番号	C-2-2
交付団体	東松島市		事業実施主体 (直接/間接)	東松島市(直接)	
総交付対象事業費	73,683 (千円)		全体事業費	128,734 (千円)	

事業概要

震災前、東松島市野蒜字洲崎地区に整備されていた「東松島市松ヶ島遊漁船乗り場」であるが、津波により流出した。震災後、観光遊覧船案内所、焼き牡蠣施設については、東松島市宮戸字川原地区に機能移転による整備が完了しているが、遊漁船発着棧橋については、宮戸農地海岸堤防災害復旧工事（宮城県施工）のため、仮復旧したままの状況である。

遊漁船発着棧橋の整備に支障となっていた、宮戸農地海岸堤防災害復旧工事が完了後、体験漁業等の海と触れ合う親水体験基地となる遊漁船発着棧橋の整備復旧を行うことで、多くの都市住民が牡蠣養殖等の漁場を実際に目にする機会を創出する。さらに、集客能力が高い遊覧船の離発着施設としても活用することにより、地域販売力強化施設との相乗効果が期待できることから販売額の増加と交流人口拡大につながるものである。

(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 10 月 11 日 第 19 回申請により流用)

調査設計費として、C-2-1 農山漁村活性化プロジェクト支援 (復興対策) 事業より 5,342 千円 (国費: H26 当初(繰越)4,006 千円)、◆C-2-1-1 農山漁村活性化プロジェクト支援 (復興対策) 事業 (農林水産業体験施設) より 1,251 千円 (国費: H26 当初(繰越)938 千円)、◆C-6-2-1 浜市漁港状況調査事業より 1,130 千円 (国費: H25 当初(繰越)847 千円) C-7-1 水産業共同利用施設復興整備事業より 1,140 千円 (国費: H25 当初(繰越)855 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 4,562 千円 (国費: 3,421 千円) から 13,425 千円 (国費: 10,067 千円) に増額。

(事業間流用による経費の変更) (令和元年 10 月 7 日 第 25 回申請により流用)

工事費として、☆F-1-1-1 漁業集落復興効果促進事業より 46,188 千円 (国費: H23 補正(繰越)34,641 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 82,546 千円 (国費: 61,907 千円) から 128,734 千円 (国費: 96,548 千円) に増額。

当面の事業概要

宮城県が施工している宮戸農地海岸堤防災害復旧工事において設置している里浜基地港 (作業ヤード) の撤去について、令和 2 年度上半期が計画されている。奥松島船舶離発着施設整備事業は、里浜基地港 (工事ヤード) 撤去後に整備を行うこととなることから、状況を鑑みた整備スケジュールとする。

〈平成 29 年度〉

奥松島船舶離発着施設調査・設計 (静穏度解析、地質調査、適地選定、測量、実施設計)

〈令和 2 年度〉

奥松島船舶離発着施設工事 (メイン棧橋設置 A=156 m<sup>2</sup>、付帯工一式)

東日本大震災の被害との関係

東日本大震災により、奥松島エリア (野蒜地区、宮戸地区) は、10m を超える津波が押し寄せ、同地区にあった遊漁船浮棧橋及び乗船案内所等は流出した。日本三景 松島の一角を形成する当該地区は、遊漁船、遊覧船、釣り、海水浴などのマリンレジャーの盛んなエリアとして、震災前は約 110 万人の観光客が訪れる市内における観光重要拠点であった。

「東松島市松ヶ島遊漁船乗り場」については、遊漁船による漁業体験や釣り船、遊覧船などの離発着の拠点であったが、震災の影響により、機能を喪失している。

平成 26 年度に策定された、宮戸地区復興再生ビジョンにおいて、漁業体験や観光案内所、焼き牡蠣施設と宮戸市民センター等の観光、まちづくり機能を集約した施設を建設することとし、平成 29 年 4 月に、地域住民活動支援促進施設等が完成している。当該施設が隣接する漁港区域内において、宮戸農地海岸堤防災害復旧工事に関連した里浜基地港（作業ヤード）が設置されていることから、当該施設撤去完了後でなければ、遊漁船発着桟橋を整備できない状況にあるものの、今後、奥松島エリアを中心とした観光復興、地域活性化を図る足掛かりの一つとして、マリンレジャーの促進は欠かすことのできない要素であり、奥松島船舶離発着施設の整備復旧が必要である。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	